



新しい年を迎えて

三篠地区社会福祉協議会

会長 水戸川 旭

新年のご挨拶の前に、平成26年8月20日に発生した広島市北部豪雨災害による犠牲者の皆様のご冥福を衷心より祈念申し上げます。そして被災された皆様を心からお見舞い申し上げます。

昨年は、御嶽山の噴火、観測史上初の猛烈台風の襲来、長野地震発生等巨大自然災害が続発し、大変不安な一年でしたが、同時に、復興ボランティアの奉仕活動や見舞い金の提供などからも「家族の絆」「地域のつながり」を再認識できた年でもありました。

自分のことは自分で守る、そして他人のために出来ることを行う。まさに地域は一つ、地域住民がつながり結束する、自分たちの町は自分たちで守る「自助共助」の教えを痛感いたしました。

今年度の三篠地区社会福祉協議会の活動の重点は、イベントや行事を通じて「すべてに感謝、そして前進！」という思いで、人情厚い地域の皆様と一緒に「みんなで支えあう最高のまち三篠」を目指し、福祉の町づくりに奉仕を進めていきたいと思ひます。

感謝

みささ元気アップのれん

地域福祉推進委員 久保田 守



平成21年度に策定された「三篠地区福祉推進まちづくりプラン」の基本計画のひとつ「健康づくり」の取り組みとして、三篠地区社協、三篠公民館、西区健康長寿課が企画し、三篠地区の住民が中心となって運営している『みささ元気アップのれん』が5年目となり、昨年12月で92回の開催を迎えました。

三篠学区には各町内会で運営している、いきいきサロンが21サロンありますが、みささ元気アップのれんは、地域の方なら誰もが参加できて皆が気軽に集う場、集まったみんながつくる場、手、足、頭、声を使う場づくりを、参加者のみなさんのアイデアで運営しております。

毎月第1・3木曜日の午後1時半から3時迄、会場は三篠公民館で開催しております。また毎年3月には三篠地区21のいきいきサロンのリーダーに集まっていたいただき、情報交換会も開催しています。

地域のみなさん『みささ元気アップのれん』に参加

して、明るく・楽しく・元気よく・笑って仲間づくりをして行きましょう。

“一人暮らし”ふれあいの会

三篠地区民生委員・児童委員協議会

会長 若宮 登

三篠地区民生委員・児童委員協議会では、65歳以上の一人暮らしの方を対象に「ふれあいの会」として、春と秋に開催し、毎回100名前後の参加をいただいております。さらに地区ブロック別でも開催し、好評を得ています。

催し物は、健康講座、健康体操、楽器演奏、和洋舞踊、マジックショー、人形劇等その都度各グループに出演を依頼しております。公演後は、楽しく食事をいただき、よもやま話に花を咲かせ、最後にビンゴゲームで一段と盛り上がり、全員にお土産を持ち帰っていただきます。

年々参加者が増えてはいますが、男性参加者がまだまだ少ないので、是非とも多くの参加をお待ちしています。家に閉じこもって、テレビの番ばかりでは、「認知症」のきっかけになるかもわかりません。「ふれあいの会」に参加すると、地域デビューのいいきっかけとなることでしょう。



ふれあいの会で挨拶する若宮会長

あなたを担当している民生委員が開催をお知らせしますので、ご遠慮なく参加され、たくさんの仲間づくりをして下さい。次回からあなたのご参加を、お待ちしております。

地域の力で明るい社会を

更生保護部長 鈴木 健一



平成6年5月に中井治法務大臣に保護司を委嘱され、西保護区第一分会に配属され現在に至っています。当初は戸惑うばかりでありましたが、保護観察所の主任官、先輩保護司の方々にご指導、ご助言をいただき保護司とは何ぞやが自分なりに理解出来るようになりました。

振り返ってみますとつい昨日のような気がします。反省ばかりでありました。しかし、対象者と面接をしている内に教えられたり、嬉しかったりしたことも数多くありました。

10年ばかり前に、学校でふとしたことで問題を起こし少年院へ入院し、仮退院した少年A君を担当することになりました。少年院から仮退院し初回面接の時に話をすれば、元来真面目で心優しい少年だと感じられました。仮退院した数日後には、直ぐ仕事にも就き朝早くから職場に出て一人で社内の整理整頓掃除などもしていたとのこと。社内では真面目に働き顧客や、先輩の方から信頼されていました。毎月の来訪約束を守り、仕事上の報告など必ず話してくれました。ある時、A君に悩みは無いかと尋ねたところ、悩みの無いのが悩みだと話したのが強く印象に残りました。

A君を担当してから2年程で退院となり、私との付き合いは終了しました。最後の面接の帰り際に、今度時間があるとき遊びに来てても良いかと話すので、何時でもお出で、しかし観察所経由では歓迎しないと告げると、笑顔で席を立ちました。

その後A君とは再会することはありませんでしたが、5年程経過した頃、風の便りで、転職後、素晴らしい女性と知り合い結婚され、お二人の子供さんにも恵まれ幸せな家庭を築いて居られると聞いたとき、自分にとって、保護司をしていて本当に良かったと思いました。

今年も、7月1日から7月31日まで法務省主唱による「社会を明るくする運動」強調月間が予定されています。地域の力で、犯罪や、非行のない明るい社会でありますよう、ご支援、ご協力よろしく願いいたします。

ボランティア バンク“お助け箱”

ボランティア コーディネーター 金本 隆久

安全で住み良い町づくりを目指す三篠地区社会福祉協議会では、ボランティア バンクの一層の活性化のため、三篠公民館一階入口付近に「お助け箱」を設置しました。

自分がやれることを困っている人にしてあげたい人を登録してもらっておいて、困りごとが出来て助けてもらいたい時、その両者を仲介して、困りごとの解決を支援し援助する組織がボランティア バンクです。

お助け箱には、困り事がある人及びボランティア提供を希望する人共に、備え付けの用紙に用件を記入して、投函して下さい。三篠地区社会福祉協議会と同盟

生委員・児童委員協議会が協力して対応します。当バンクで対応できないことについては、関連機関への斡旋や窓口の紹介も行って、困りごとの解決に協力します。

今まで、身近な相談窓口を思いつかずそのまま我慢したり、諦めたりしていませんか？

投稿内容の守秘義務は遵守しますので、気軽に皆さま方のご利用をお待ちしています。

日本ペタンク選手権大会に出場

三篠体協ペタンク部 中村 慶一

昨年10月京都府で開催の第29回日本ペタンク選手権大会に、三篠体協ペタンク部の川野稔・松島純治両選手と3名で、広島県代表として出場しました。

全国各地から男子64チーム、女子64チームの出場、まさにペタンク日本一を決める大会です。出場選手の年齢層は幅広く、男女とも若い世代の選手がいっぱい、会場はカラフルなユニフォームでとても華やかでした。



広島県選手団Bチームの記念撮影

和気あいあいとした雰囲気ではありますが、試合となると一変、シビアで厳しい試合が続きました。

幸いにも私たち広島県Bチームは4チームでの予選リーグを勝ち上がり、決勝トーナメントに進出しました。ベスト16をかけた決勝トーナメント1回戦では惜しくも負けてしまいましたが、目標としていた予選を突破することができました。

県代表として出場した日本選手権大会…貴重な素晴らしい体験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。また必ず代表となって、出場できるよう練習を重ねていこうと決意しました。

三篠地区の皆さんとの 嬉しいふれあい

広島市手をつなぐ育成会

副会長 金子 麻由美



「♪ありがとう～いくせいの人、友達になれたよねえ。もう一度会いたいよ、会えるよ～、同じ三篠のなかまだよ、ぼくらは～♪」…昨年の2月、当時の三

篠小学校3年生が作ってくれた歌の一節です。

10年間、育成会祭りを打越町にあります施設内で開催してきましたが、会員同志の交流にとどまり、地域の皆さんとの交流が課題でした。

そんな折、三篠地区社会福祉協議会の水戸川 旭会長のお計らいと学校の先生方のご理解とご協力で、4年前から当施設近くの三篠小学校をお借りして育成会祭りを行っています。



三篠小学校体育館の舞台上で合唱を披露

それがご縁で、一昨年・昨年と三篠小学校3年生の皆さんに「あび隊(知的障害者疑似体験理解講座)」を経験していただき、児童の皆さんと障害者の皆さんが交流する中で、こんな素敵なお歌を3年生自ら作ってくれたのです。

昨年の育成会祭りでは、児童の有志と私たちが一緒に歌いました。その他にもステージでは、恒例になった中広中学校吹奏楽部の迫力ある楽しい演奏や、三篠小学校合唱部の美しい歌声に加え、今年度は三篠公民館で練習されている桜日舞会の子どもたちに、可愛らしい舞いを披露していただきました。

午後から行われた初の室内バタンク…これは、全面的に三篠体協の皆さんがご指導くださいました。

また、三篠社協主催の福祉体験もご好評いただき、バザーには三篠子ども会の方々もご参加いただくなど、益々育成会祭りが賑やかになり、学校や地域の皆さまに心より深く感謝申し上げます。

思えば56年前、知的障害児にも教育を！と教職員と保護者で始まった広島市育成会でした。育成会の目的である「障害のある人が安心して自分らしく暮らせる地域社会」を実現するために、知的障害や発達障害を知って頂き地域での交流が広がりますよう、これからもご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新町内会 会長就任 ご挨拶

打越町内会 会長 熊野 博

町内会の取り組みとして今迄、行われてきた事を守り、住みよい町づくりに努めてまいりたいと思います。

打越町町内会の取り組み

1. 公園清除…第1日曜日、第3日曜日それぞれ8時開始
2. 一家一点灯運動…町内を明るく夜間の犯罪防止
3. 門前清掃…各家庭で家の周りの清掃をし、ゴミの

ない町

4. 回覧板…月末に公園の清掃日程と合わせて回覧
5. いきいきサロン…毎月第4木曜日、打越町集会所で11時から開催
*世話人、民生・児童委員(野村、綾部氏)
6. 災害時の避難場所設定…地震発生による津波時の一時避難場所の周知
*近辺の高層ビル・三篠小学校

この度の広島市北部豪雨災害では、異常を感じた人が、隣・近所を起こし避難して命が助かった事例がありました。向こう三軒・両隣、常日頃から挨拶や会話を通し交流を深めお互い助け合い協力したいと思います。

三滝(みたき)・私たちの町

三滝本町二丁目町内会 会長 石田 守

私は三滝に生まれ、育ち、これまで三滝で暮らしてきました。三滝本町には三瀧寺、誓願寺などの寺院、日涉園跡、親鸞聖人像跡などの史跡が点在し、初詣や桜・紅葉の季節には大勢の方が訪れる、自然あふれる、住みやすい町です。

ところが、昨年8月下旬「広島市豪雨大規模土砂災害」の夜、三滝山でも4カ所で土砂崩れ・土石流が発生し、三瀧寺やその近辺は被害を受けました。

大正時代以来およそ90年ぶりの災害でした。災害が深夜に起きたこともあり、怖い思いをした住民も多くなりましたが、幸いにも人的被害は免れました。



三滝災害

直ちに、三滝一丁目町内会と合同会議を開き「自主防災組織」を見直し、強化し、ネットワークを整備しました。

町民・住民すべてが、子どもも大人もお年寄りも、みんなが安心して暮らせる安全・快適なまちづくりーこれが二丁目町内会の最重要課題だと思っています。

広島県・広島市・西区の行政と連携し、町内会役員・住民と一体となり、地域防災に取り組んでいく所存です。



長寿大学報告「忠臣蔵と広島」

打越町町内会長 熊野 博

公民館主催の三篠長寿大学で「忠臣蔵と広島」の館外講座を広島駅北側の二葉の里で受講しました。

「忠臣蔵」で知られている赤穂浅野藩は、広島浅野藩と本家分家の関係にあることから、広島には赤穂浪士ゆかりの旧跡がいくつかあり、今回二葉山山麓の多くの神社仏閣が鎮座する「歴史の散歩道」をボランティアガイドさんの案内で散策しました。

24名の参加者は、先ず大石内蔵助親子の遺髪を葬った供養塔のある聖光寺(曹洞宗)を訪ねました。討ち入り後、赤穂浪士の中で唯一生き残った寺坂吉右衛門が広島を訪れ、討ち入りの成功を浅野藩に報告し、持ち帰った内蔵助親子の遺髪を同家の菩提寺(国泰寺)に葬って欲しいと申し出ました。しかし当時、仇討ちは御法度で、内蔵助親子は罪人にあたるため、この申し出は聞き入れられず、同宗の聖光寺にそれを葬ったと伝えられています。



饒津神社拜殿にて記念撮影

次に訪ねた、赤穂浅野藩が寄進した江戸時代様式の建築物「広島東照宮」の参道入り口には、三次浅野藩寄進の鳥居、同一番奥には三原浅野藩寄進の灯籠、本殿右隣に神輿が奉納されています。

また広島浅野藩の祈願所でもあった明星院(真言宗御室派)には、義商天野屋利兵衛を加え、元禄事件の四十七士をたたえ供養する、江戸時代後期作といわれる高さ70センチのクスノ木一本造りの「48体の赤穂浪士の討ち入り姿」の木彫りが安置されています。

以上、忠臣蔵と広島にまつわる歴史を身近に探訪し、興味津々の一日でありました。

三篠地区社会福祉協議会 役員名簿

(平成26～27年度)

役職	部署名	氏名(町内会長等)	
会長		水戸川 旭	
副会長 理事	総務部長	桑原 量(竜王町町内会長)	
	公衆衛生部部长		
	総務部副部長	黒田 定明(三篠町二丁目町内会長)	
	民生部部长	若宮 登(三篠地区民児協会長)	
理事	地域福祉推進委員	久保田 守(西区地域福祉推進委員)	
	町内会長	総務部副部長	松前 卓三(三滝本町一丁目町内会長)
		経理部部长	和田 吉雄
		交通防犯部部长	山口 孝(横川町三丁目町内会長)
		ボランティアコーディネーター	金本 隆久
			熊野 博(打越町町内会長)
			登 勝掬(三滝町町内会長)
			沖田 清輔(横川町二丁目町内会長)
			寺岡 武(三篠町一丁目町内会長)
			横山 卓二(横川新町町内会長)
			馬場 伸之(横川町一丁目町内会長)
			石田 守(三滝本町二丁目町内会長)
			濱田 修二(三滝観音台町内会長)
			森島 誠司(山手町町内会長)
			原本 勝幸(楠木町一丁目町内会長)
			和田 和弘(スカイプラザ横川自治会長)
	勝部 郁夫(中広町三丁目町内会長)		
理事	防災部部长	和田 吉雄	
	体育部部长	滝山 瑞枝	
	子ども会育成部部长	中江 正彦	
	青少年育成部部长	小田 房雄	
	老人福祉部部长	向井 進	
	女性部部长	高田 清子	
	母子福祉部部长	室積 久代	
	更生保護部部长	鈴木 健一	
	広報部部长	三好 康之	
	小学校PTA会長	野上 光康	
監事	参与	山本 秀樹(三篠公民館館長)	
		高津 明伸 馬場 伸之	

表彰おめでとうございます

永年の社会福祉活動に対し、表彰を受けられました

広島県社会福祉協議会 会長表彰

三篠地区社会福祉協議会副会長
(総務部長・公衆衛生部部长) 桑原 量さん

広島市社会福祉協議会 会長表彰

三篠地区社会福祉協議会副会長
(地域福祉推進委員) 久保田 守さん
(三篠地区民生委員・児童委員) 寺岡 信恵さん

編集後記

「三篠のふくし通算23号」は三篠地区社会福祉協議会会員の皆様の日常活動の一端を紹介する内容を中心に編集いたしました。

今号では、平成26年8月に発生した広島市北部豪雨災害のお見舞いと対策、三篠地区社会福祉協議会各部署の事業・活動報告、町内会活動状況などの記事をお届けいたします。

会員の皆様からの原稿や忌憚のないご意見、感想をお寄せ下されば幸いです。現在の広報委員は3名(三好・栗栖・森島)です。

(広報部広報委員会 代表 三好康之)

